

第1部 2008年度第2四半期決算概要 及び 2008年度業績予想

副社長 木下幸雄

2008年度第2四半期 業績サマリー

単位: 億円

ポイント

(1) 受注高

- ・3期連続過去最高を更新
- ・初の4000億円台を達成
- ・全セグメント増加

(2) 売上高

- ・5期連続過去最高を更新

(3) 利益

- ・営業、経常、当期とも微減

<受注高>

環境、船舶鉄構・機器、機械が増加

<売上高>

標準・量産、建機、船舶が増加

<営業利益>

船舶鉄構・機器、環境が増加

<経常利益> 持分法投資利益減少

	2008 / 上	2007 / 上	差異
受注高	4,225	3,438	787
売上高	3,408	3,051	357
営業利益	344	350	6
営業利益率	10.1%	11.5%	1.4%
経常利益	340	350	11
経常利益率	10.0%	11.5%	1.5%
特別損益	2	22	21
四半期純利益	198	202	4
四半期純利益率	5.8%	6.6%	0.8%

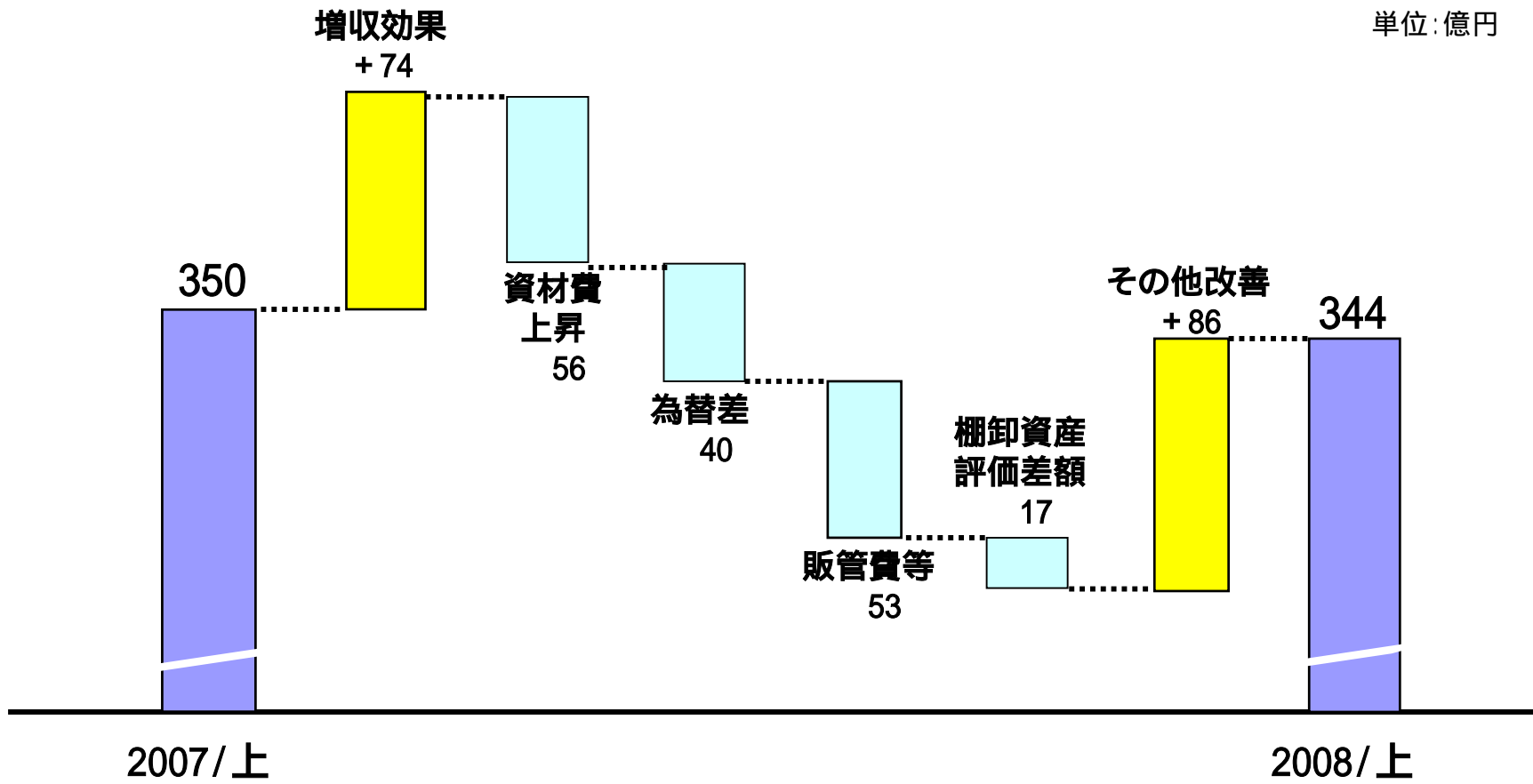
セグメント別営業利益

単位:億円

	2008/上	2007/上	増減
標準・量産機械 変減速機、プラスチックは減益。 精密その他は増益。	99	127	28
環境・プラントその他 ボイラが損益改善。	37	19	18
船舶鉄構・機器 新造船、鉄構・機器ともに売上増による増益。	73	57	16
機械 搬送システム、タービン、ポンプが好調継続。	55	55	0
建設機械 油圧ショベルは増収減益。 米国モバイルクレーン好調。	78	90	12
計	344	350	6

営業利益増減分析 (2007 / 上 - 2008 / 上)

単位: 億円



連結貸借対照表

	2008/9末			2008/3末			単位:億円
	2008/9末	2008/3末	増減	2008/9末	2008/3末	増減	
流動資産	3,866	3,819	46	負債	4,317	4,323	5
現預金	342	303	39	買掛債務	1,648	1,670	23
売上債権	1,749	1,859	110	前受金	618	486	132
たな卸資産	1,479	1,305	174	有利子負債	831	896	65
その他	296	353	57	その他	1,220	1,271	50
固定資産	3,030	2,967	63	純資産	2,578	2,464	115
有形固定資産	2,110	2,045	65	株主資本	2,082	1,920	162
無形固定資産	144	158	13	評価・換算差額等	399	451	51
投資その他の資産	777	765	12	少数株主持分	97	93	4
合計	6,896	6,786	109	合計	6,896	6,786	109
				有利子負債比率	12.1%	13.2%	1.1%
				自己資本比率	36.0%	34.9%	1.1%

連結キャッシュフロー計算書

区 分	単位: 億円		
	2008/上	2007/上	増減
営業活動	283	114	169
運転資本	32	62	94
利払い・償却前事業収益	421	392	29
その他	170	215	45
投資活動	140	114	26
フリーキャッシュ・フロー	143	0	143
財務活動	100	152	52
現金・現金同等物増減	39	147	187
現金・現金同等物期末残高	338	328	10

2008年度業績予想

ポイント

- (1) 受注高、売上高は過去最高を更新見込み
 (2) 6期連続増収見込みだが、原材料費高騰、円高等により減益予想

- <受注高> 建機を除き増加の見込み
 <売上高> 全セグメント増加の見込み
 <営業利益> 原材料費高騰、為替の影響織込み

	2008上期実績	2007上期実績	2008年度予想	2007年度実績	単位:億円
受注高	4,225	3,438	7,700	7,164	
売上高	3,408	3,051	7,200	6,608	
営業利益	344	350	700	778	
営業利益率	10.1%	11.5%	9.7%	11.8%	
経常利益	340	350	665	755	
経常利益率	10.0%	11.5%	9.2%	11.4%	
特別損益	2	22	55	30	
当期純利益	198	202	310	430	
当期利益率	5.8%	6.6%	4.3%	6.5%	
配当	6円	5円	12円	10円	
配当性向			23.4%	14.0%	
ROIC (税引後)			11.5%	14.0%	
織込レート(ドル)			08/下 100円	112円	

2008年度セグメント別売上高、営業利益予想

- ポイント (1) 受注高は建機セグメントを除き増加し7,700億円を達成、過去最高を更新見込み。
 (2) 売上高は全セグメントで増加し6期連続増収、過去最高を更新見込み。
 (3) 原材料費高騰、円高等により減益予想。

		2008上期 実績	2007上期 実績	増減	2008年度 予想	2007年度 実績	増減
単位: 億円							
標準・量産 機械	受注高	1,324	1,214	109	2,650	2,474	176
	売上高	1,251	1,102	149	2,530	2,326	204
	営業利益	99	127	28	220	282	62
環境・プラン トその他	受注高	600	431	169	1,180	918	262
	売上高	399	353	46	970	912	58
	営業利益	37	19	18	100	69	31
船舶鉄構・ 機器	受注高	705	360	345	930	907	23
	売上高	392	311	81	830	764	66
	営業利益	73	57	16	125	141	16
機械	受注高	621	486	135	1,080	988	92
	売上高	359	385	27	870	812	58
	営業利益	55	55	0	125	121	4
建設機械	受注高	975	946	29	1,860	1,877	17
	売上高	1,077	899	107	2,000	1,794	206
	営業利益	78	90	12	130	163	33
合計	受注高	4,225	3,438	787	7,700	7,164	536
	売上高	3,408	3,051	357	7,200	6,608	592
	営業利益	344	350	6	700	778	78

今後の財務方針

現下の経済情勢に鑑み、当社グループの基本方針である「財務の健全性確保」を堅持するため当面の財務方針を以下のとおりとする。

1. 設備投資案件の厳選、固定費・変動費の圧縮
2. 円高対策
 - … 現有のグローバル・サプライ・チェーンの徹底的な有効活用 コストのドル化
3. 財務規律の堅持

第2部 経営戦略

社長 中村 吉伸

2008年度セグメント別受注状況

上期は資源、エネルギー、インフラ関連が牽引し、各セグメントにおいて前年比増を達成。
 下期は減速するものの2008年度受注7,700億円を達成見込み。
 9月末の受注残は過去最高の6,270億円へ。

単位:億円

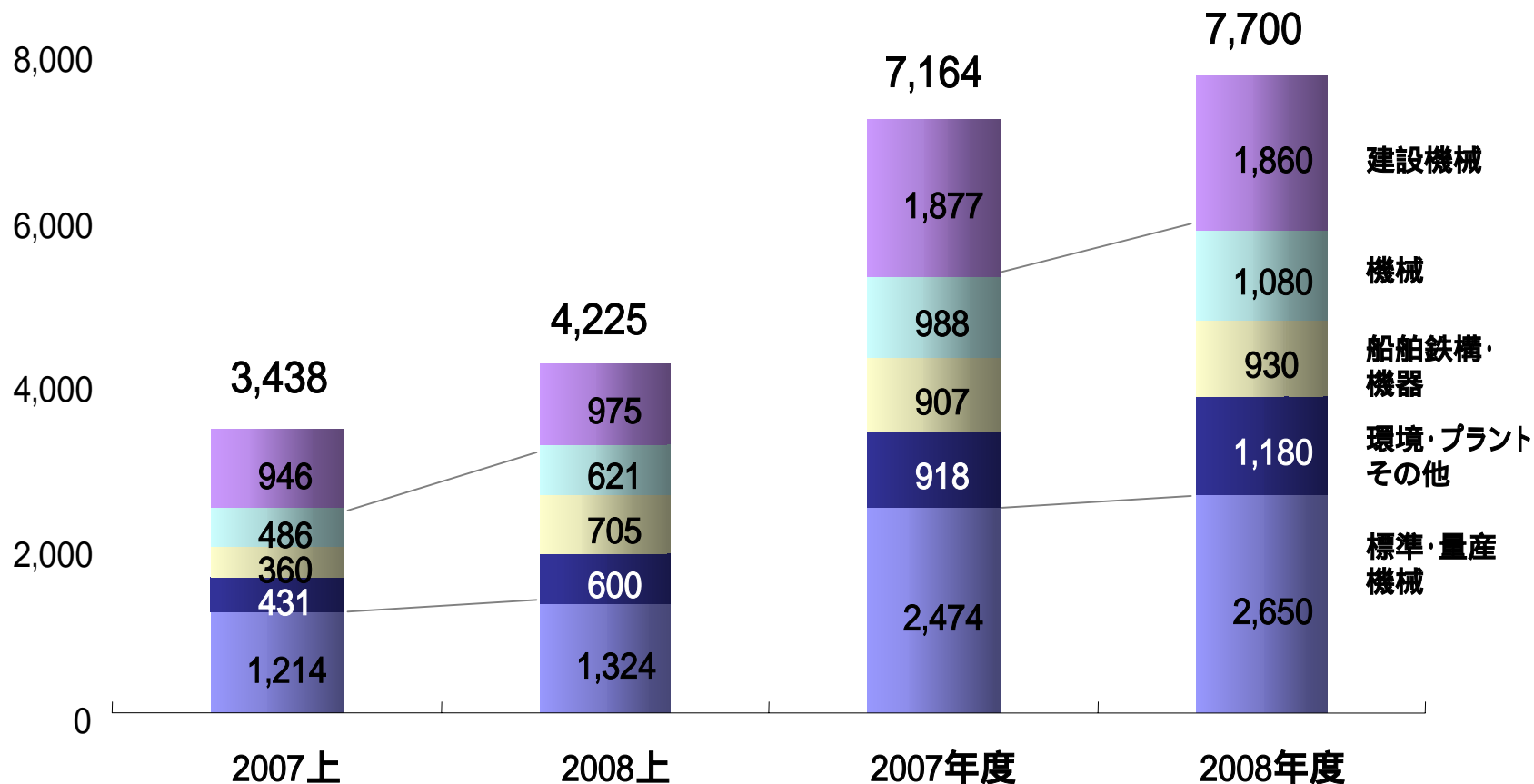
セグメント		受注状況	2008年度受注金額	
			上期実績	通期計画
標準 量産 機械	変減速機	・アジア、米国、BRICsにおいて資源関連(=大型機種)堅調 ・中型および小型機種は設備投資抑制の影響を受け減速 ・地域別では、日本、欧州は減少	545	1,100
	プラスチック加工 機械	・グローバルに減速 ・特にIT関連、自動車関連は設備投資抑制	367	710
	精密制御機械・ コンポーネント他	・液晶関連および半導体関連は設備投資抑制 ・医療関連は国内マーケット一巡、海外は堅調	412	840
小計			1,324	2,650
環境・プラントその他		・ボイラは国内・海外とも堅調	600	1,180
船舶鉄構・機器		・タンカー7隻受注。下期は市況停滞と予測 ・コークドラムは上期堅調だったが下期は停滞と予測	705	930
機械		・新興国中心に中小型タービン需要堅調 ・製鉄所向けクレーン、アンローダ好調	621	1,080
建設機械		・油圧ショベルは中国を除きグローバルに減速 ・米国インフラ関連でモバイルクレーン好調継続	975	1,860
合計			4,225	7,700

2007/2008年度セグメント別受注比較

上期は各セグメントにおいて前年比増を達成し、第2四半期ベースの過去最高を更新。受注残も過去最高の水準。

下期は減速するものの、2008年度受注7,700億円を達成、過去最高を更新の見込み。

単位: 億円



2008年度セグメント別施策

単位: 億円

セグメント		2008上期実績		施策	2008年度予想	
		売上	営業利益		売上	営業利益
標準 皇産 機械	変減速機	503	99	<ul style="list-style-type: none"> 中国・唐山ギヤボックス工場の早期稼動 ベトナム・モータ工場の生産性向上 グローバルネットワークの強化・活用による競争力強化 	1,040	220
	プラスチック加工機械	366		<ul style="list-style-type: none"> デマージ社との統合効果追求 電動機のグローバル販売強化 	710	
	精密その他	382		<ul style="list-style-type: none"> 医療関連など堅調分野に注力 商品力・コスト競争力の強化 	780	
小計		1,251		小計	2,530	
環境・プラントその他		399	37	<ul style="list-style-type: none"> ボイラ事業海外展開強化 プロジェクトマネジメント力強化 	970	100
船舶鉄構・機器		392	73	<ul style="list-style-type: none"> トヨタ生産方式による造船所の生産性向上 コークドラムの生産性向上 	830	125
機械		359	55	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上とコストダウン強化 	870	125
建設機械		1,007	78	<ul style="list-style-type: none"> 中国・唐山油圧ショベル工場の早期稼動 モバイルクレーン生産性向上 	2,000	130
合計		3,408	344	合計	7,200	700

標準・量産機械

変減速機:

アジア、欧州、北南米での資源・エネルギー関連、インフラ関連需要を中心に積極拡販。生産については、中国、ベトナム工場での内製化推進、サプライチェーン強化。特に唐山工場の早期立ち上げによるコストダウンを推進する。

プラスチック加工機械:

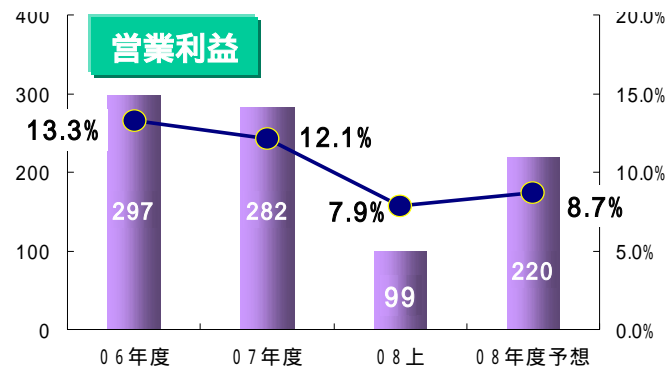
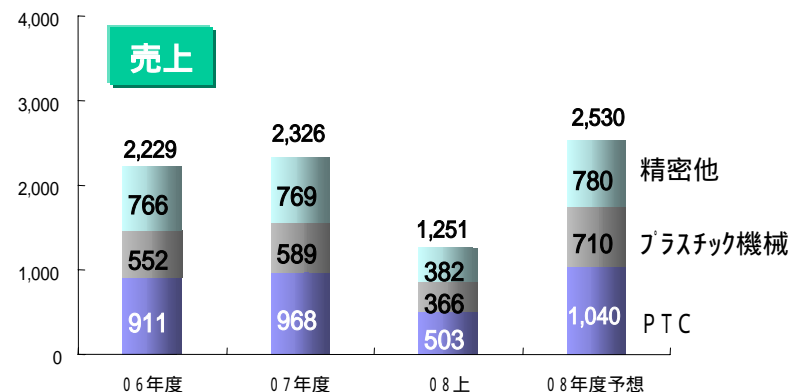
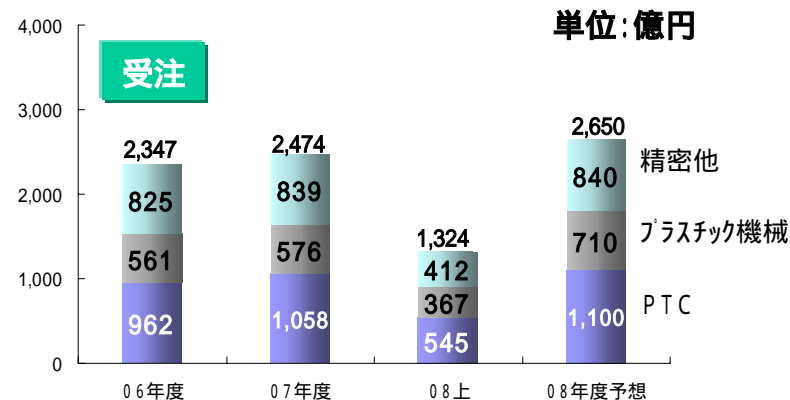
デマーク社との統合推進による、アジア、欧州、北南米での販売戦略展開強化、IT市場および自動車市場でのシェアアップを目指す。



資源・エネルギー関連で
堅調に推移するギヤボックス



ドイツで開催されたプラスチック機械の
展示会にて、住友 - DEMAG の統合を
顧客にアピール



環境・プラントその他

エネルギープラント:

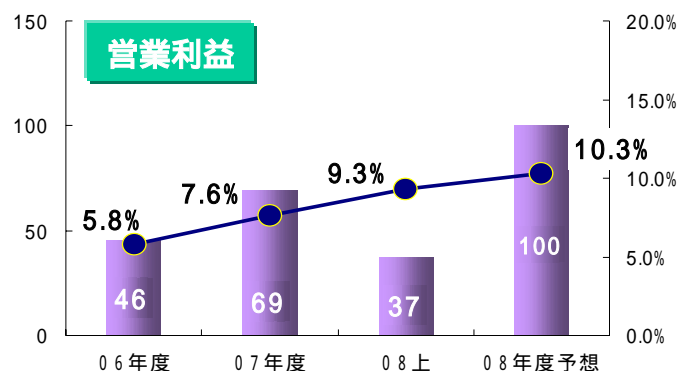
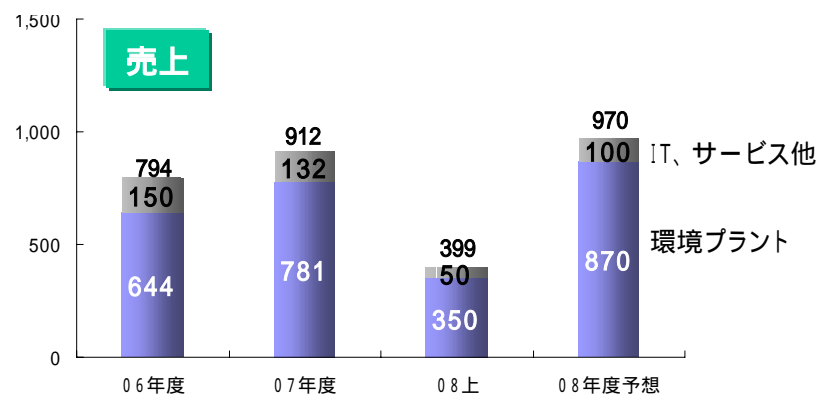
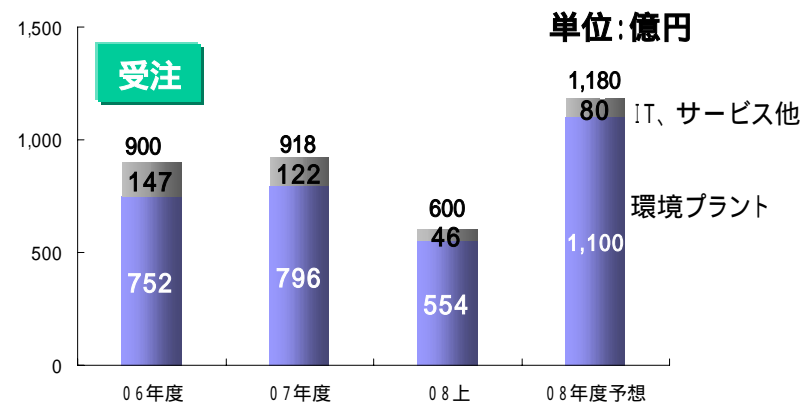
国内は小型機による市場開拓。海外はアジアを中心に展開加速。プロジェクト・マネジメント力強化による採算維持。

水処理プラント:

既存市場(食品、紙パ、鉄鋼)の更なる深耕。商品力強化による新規分野開拓。



多様な燃料を活用し、エネルギー資源の有効活用とCO₂排出削減に貢献するCFBボイラ



船舶鉄構・機器

船舶：

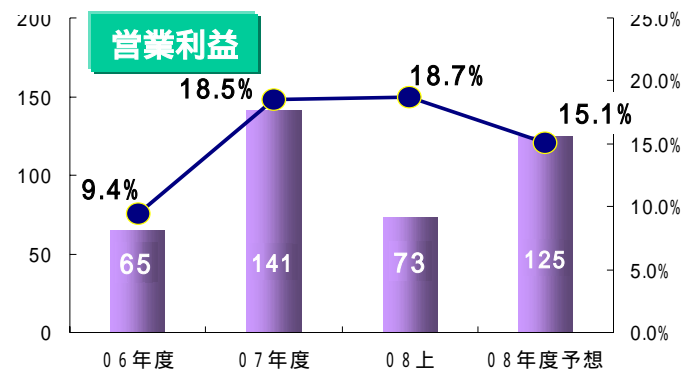
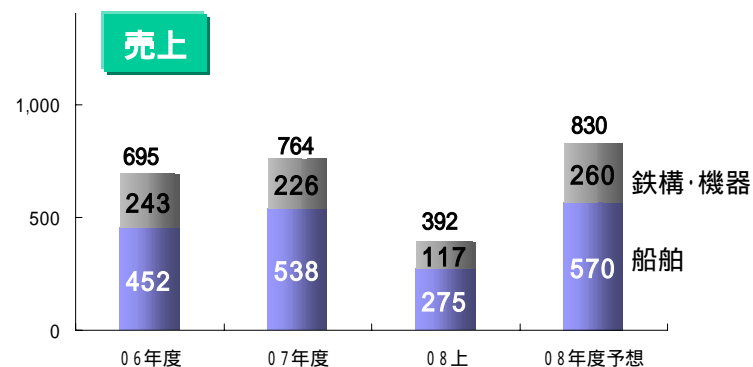
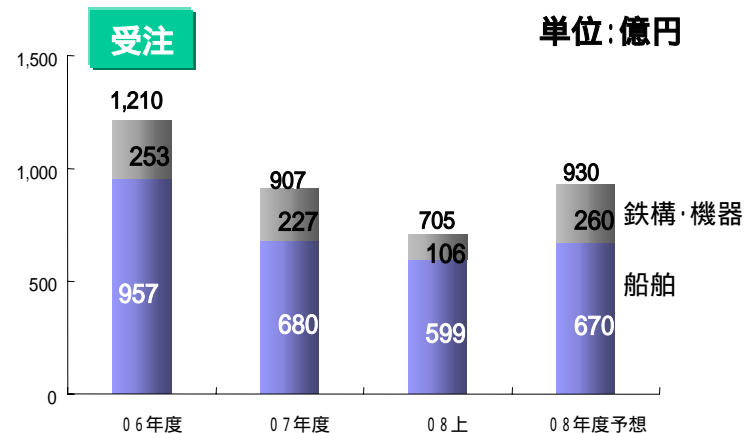
トヨタ生産方式による生産性向上を一層推進し、コストダウンを進める。

鉄構機器：

反応容器については連続生産により生産性を向上させ、コストダウンを進める。トヨタ生産方式の一層の定着を図る。



連続建造で高利益率を誇るアフラマックス型タンカー



機械

運搬機械:

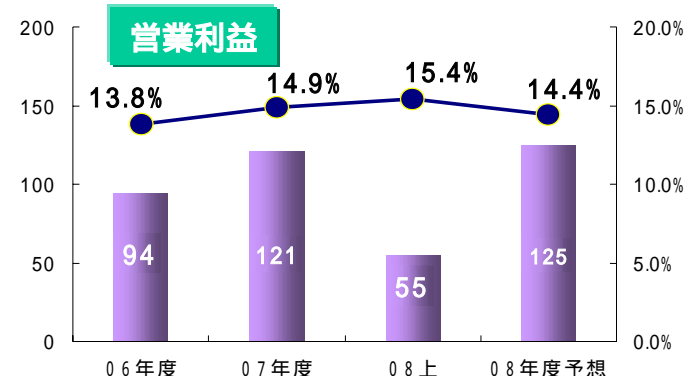
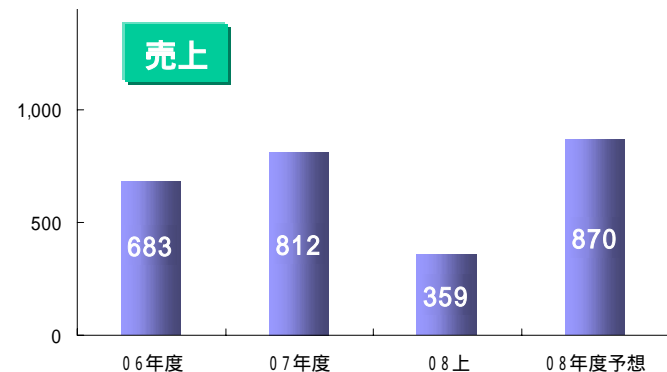
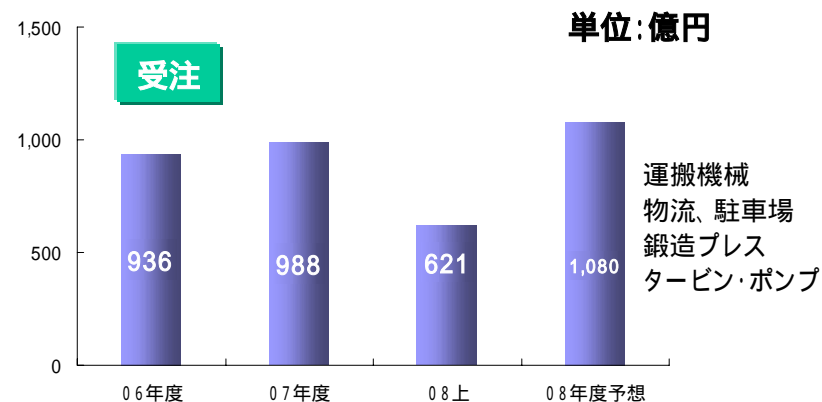
国内鉄鋼業界市場の深耕。生産性向上により製品の安定供給とコストダウンを進める。

タービン・ポンプ:

インド、北米、東南アジアでの拡販を継続し、内製強化と調達力強化によりコストダウンを進める。
中型タービン新機種の拡販。



荷役効率No.1、「クリーンな荷役」で顧客のニーズに応えるアンローダ



建設機械

ショベル:

中国はじめアジア市場での拡販を進める。また、中国唐山工場の早期立上と千葉工場の生産性向上を図り、コストダウンを進める。

クレーン:

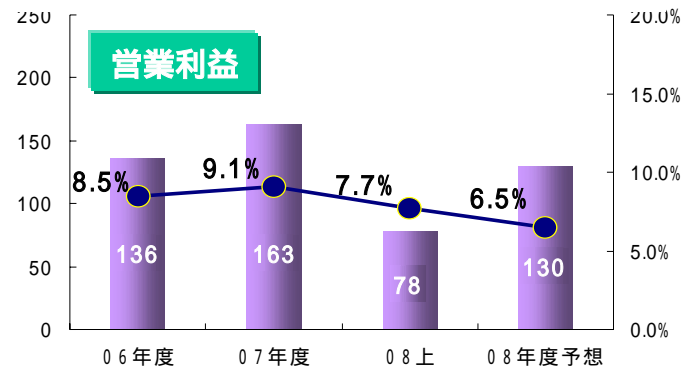
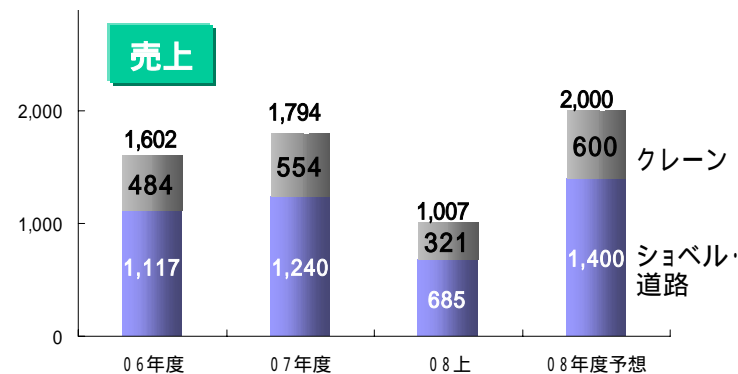
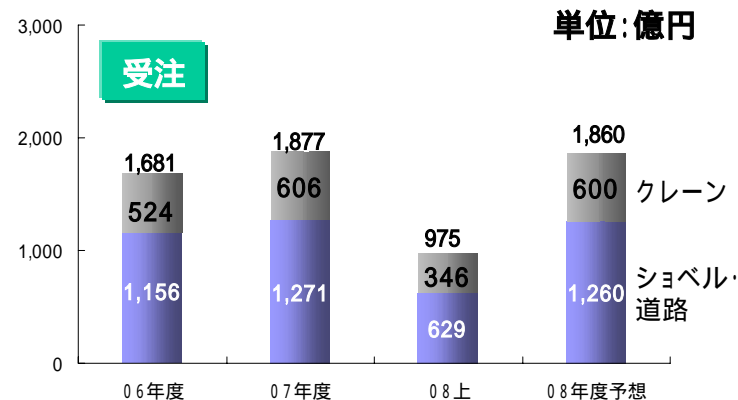
新商品投入による北米シェア向上を図る。新規設備の本格稼働による生産性向上、内部付加価値増大を狙う。



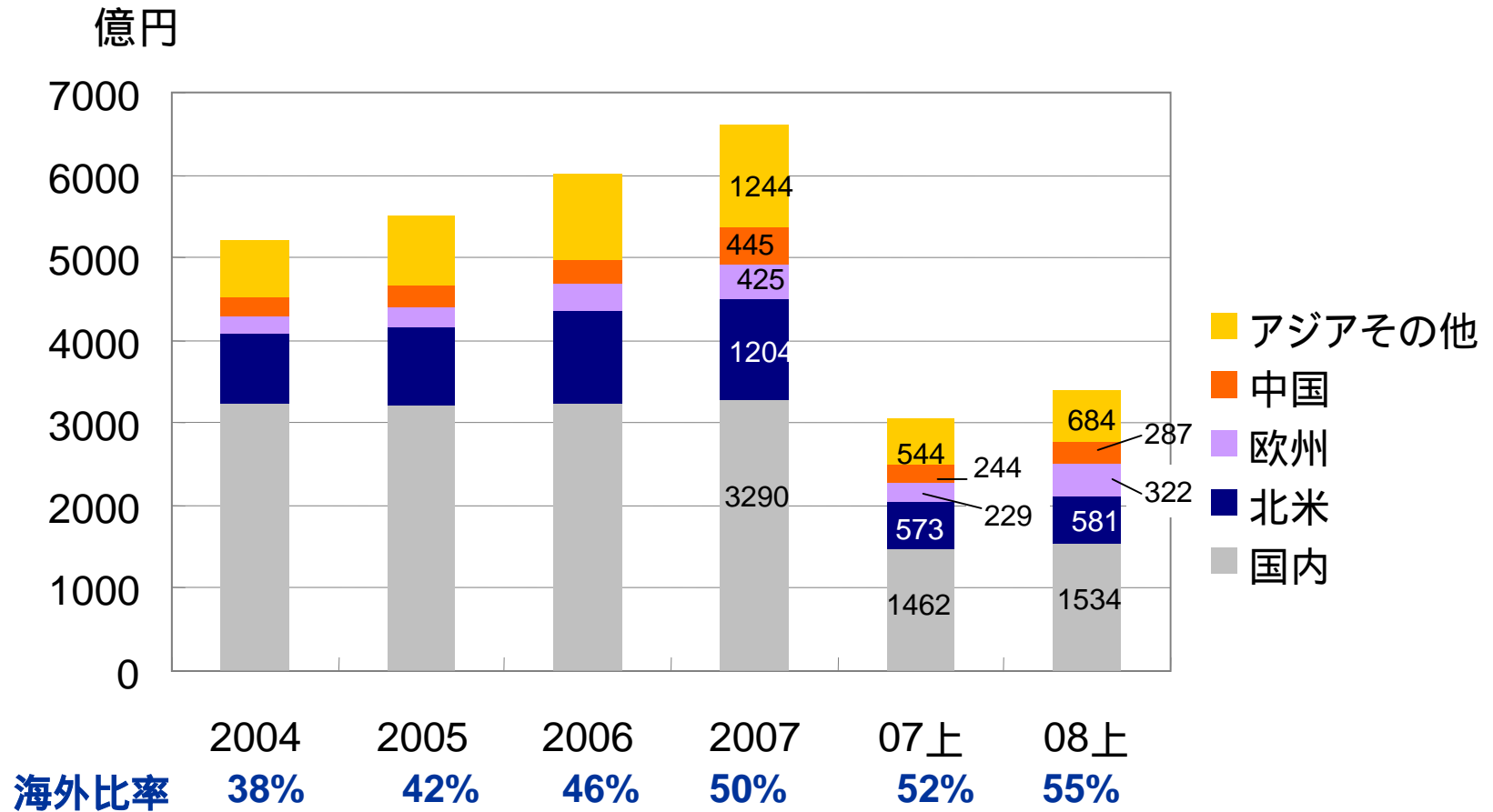
優れた耐久性と
低燃費(20%削減)を実現した
油圧ショベル「LEGEST」



米国のインフラ整備で
活躍する
モバイルクレーン



海外売上高



- アジア：各事業とも売上伸長
- 欧州：デマージのグループ編入により売上増加

経済環境の変動リスクに強いポートフォリオ

社会・産業インフラ ← 市場のバリューチェーン → 生活消費

		資源	輸送・運搬	環境・エネルギー	化学	鉄鋼	自動車 FA	液晶・半導体	IT・デジタル家電	医療・バイオ・理化学
地域	国内		運搬システム 建設機械 船舶 フォークリフト タービンブレード ギアボックス	ボイラ 水処理 大気汚染防止装置 タービンブレード ギアボックス	ボイラ 水処理 ギアボックス	運搬システム 水処理 大気汚染防止装置 ギアボックス	射出成形機 平面研削盤 MCD 鍛造プレス	射出成形機 極低温冷凍機 XYステージ 超伝導マグネット クライオポンプ 封止装置 イオン注入装置 レーザアニール 平面研削盤 物流システム	射出成形機	陽子線治療システム PETシステム 極低温冷凍機 射出成形機
	北米	ギアボックス 建設機械	建設機械	ボイラ 発電用蒸気タービン	反応・攪拌装置	ギアモータは全ての業種・地域をカバー			射出成形機	極低温冷凍機
	欧州		建設機械 船舶				射出成形機 MCD		射出成形機	極低温冷凍機
	アジア	ギアボックス	建設機械 船舶 リフティング・マグネット	ボイラ 大気汚染防止装置 発電用蒸気タービン	ギアボックス ポンプ	大気汚染防止装置 ギアボックス		射出成形機	射出成形機	陽子線治療システム PETシステム
	その他		建設機械	発電用蒸気タービン	反応・攪拌装置 ポンプ					

 :標準・量産機械
 :環境・プラントその他
 :船舶鉄構・機器
 :機械
 :建設機械

今後の経営方針

今後の環境認識

- ・米国・欧州市場の落ち込み
- ・為替変動
- ・原材料費高騰
- ・受注競争激化

S HI独自のビジネスモデルをさらに強化

- ・ROIC 経営へのこだわり
- ・経済環境の変動リスクに強いポートフォリオ
- ・一流商品による競争優位の追求
- ・垂直統合型バリューチェーンの活用による差別化
- ・トヨタ生産方式による生産性向上の追求
- ・グローバルネットワークの活用による競争力強化

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。